



鹿屋市立西原小学校
令和4年2月4日発行
No.5

西原小学校では、昨年度から「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに認め励まし合う子どもの育成」を目指し、子どもたちの「心の教育」をテーマに研究をしています。キラリ通信第5号は、3年生の総合的な学習「福祉ってなあに？」での取組を紹介します。

3年生は、総合の学習で「福祉ってなあに？」の単元で、車いすや高齢者について考える学習をします。今回は、車いすについて、自分たちでタブレットを使用して調べ、その後実際に車いすの使い方を学びました。

車いすの使い方を知ろう。

車いすの使い方、介助の仕方を動画で視聴しました。



実際に車いすに乗ったり、介助の練習をしたりしました。



ふり返りの時間に、授業の感想を書きました。



車いすの部位の名前や役割について学びました。



広げ方やたたみ方も実際にしてみました。



【授業後子供たちの感想】

- ・ ちょっとの段差をのぼるのが大変だということにおどろきました。もっと車いすの方々のことを考えて生活していきたいです。
- ・ おじいちゃんが車いすにのっていたので、車いすの操作がどれほど大切か分かっているので、とても勉強になりました。
- ・ 車いすにはたくさんの種類がありびっくりしました。私にも車いすで生活しているおじいちゃんがあります。だから、私も自分でできる限りの事をしてあげたいです。
- ・ 車いすに乗っている人たちは、急に動かされるととてもびっくりするので、声かけが大切だという事を実際に乗ってみて気が付きました。

きりとり

西原小学校の「心の教育」について御理解いただけたでしょうか。御感想をお寄せいただけるとありがたいです。

(2月10日〆切)

() 年 () 組 名前 ()